

当院での M2（中大脳動脈末梢部）閉塞への

血栓回収に関する前向き観察研究

- 研究の目的、方法と意義について

脳の太い血管に血のかたまり（血栓）が詰まってしまった患者さんに対して、症状が出てから 8 時間以内など超急性期に、カテーテルという細い管を使って血栓を取り除く治療（血栓回収療法）が一般的に行われており、当院でも積極的に実施しています。

これまで脳の比較的太い血管に適合した吸引カテーテル（血栓を吸引する道具）は広く普及していましたが、比較的細い血管に適合した吸引カテーテルは限定されていました。

最近になり、誘導性の高い細径吸引カテーテルが普及し始めており、より安全で効果的に治療を行えることが期待されています。

当院では今後、中大脳動脈の末梢部（比較的細い血管）に対して今後誘導性の高い細径吸引カテーテルでの血栓回収を第一選択として行う方針です。

本研究では、この治療を受けた患者さんの診療情報をもとに、治療方法や経過、予後などを集計・分析し、今後の医療の質の向上を図ることを目的としています。

- 対象

当院で中大脳動脈末梢部の閉塞に対して血栓回収術を受けた患者さんが対象となります。

- 項目

年齢、性別、原疾患、採血データ、画像データ、治療方法、合併症の有無、治療成績、予後などのデータをカルテから抽出します。

- 拒否機会の保障と連絡方法

この研究の結果は個人の特定ができない形でデータ解析が行われますが、カルテデータの研究参加を拒否することが可能です。

該当期間に手術を受けた患者さんで、ご自身の記録を研究に利用されることを望まれない方は、下記連絡先まで、メールまたはFAXにてご連絡ください。

この研究への情報提供を停止させていただきます。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

不明な点やご心配などがございましたら、ご遠慮なく書き連絡先までメールまたはFAXにてご連絡ください。

この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく不利益を被ることはありません。

- お問い合わせ等の連絡先

清恵会病院 脳卒中センター 部長 木村僚太

メールアドレス：r-kimura@seikeikai.or.jp

FAX：0120-34-8199